

## 飼料添加物等を利用した乳牛における暑熱期の生産性の改善

### 【研究概要】

暑熱ストレスは乳牛の生理・生産機能にさまざまな悪影響を及ぼす。青梅庁舎のホルスタイン種飼養牛を用い、夏の暑熱期を6月中旬～7月上旬、7月中旬～8月上旬、8月下旬～9月中旬、10月上旬～下旬の4期に分け、それぞれ3週間に渡ってバイパス油脂の単独給与、ミネラル混合物と組み合わせた給与について、暑熱ストレス低減効果を検証した。今年度は下記のことことが判明した。

- (1) 他の試験期間よりも乾物摂取量が減少していた3期（8月下旬～9月中旬）において、混合物給与区では乳量が増加し、血中のグルコース値、総コレステロール値は、バイパス油脂単独給与区、ミネラル混合物給与区ともに対照区との間に有意差を認めた。これらのことから、暑熱ストレス蓄積により摂食量が減少する時期に、ミネラル混合物と組み合わせた飼料添加物を給与することで損耗を低減できる可能性が示された。